

地域	山形県寒河江市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	2 - 20 - 005
----	---------	-----	------------	------	--------------

事業名	日本酒醸造技術を利用した「こくわ」リキュールの商品開発及び販路開拓事業
-----	-------------------------------------

連携体	中小企業者	月山酒造(株)(清酒 瓶詰め製造・販売)
	農林漁業者	土田耕二郎(農業・こくわ生産)
	連携参加者	佐藤一男(こくわ生産)、大泉良太郎(こくわ生産)、佐藤郁男(こくわ生産)、宮林昌弘(こくわ生産)、佐藤豊彦(こくわ生産)、大泉清(こくわ生産)、阿部盛弘(こくわ生産)、荒木確(こくわ生産)、古沢清(こくわ生産)、佐藤喜代松(こくわ生産)、榎設楽酒造店

サポート機関等	(財)山形県企業振興公社、地域活性化支援事務局
---------	-------------------------

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

果実である「こくわ」は糖度が高く、ビタミンCが豊富という効能がある一方、えぐみやクエン酸が多いという課題がある。土田耕二郎はじめ「こくわ栽培研究会」会員は従来よりこの課題解決のために在来種の品種改良と栽培技術の向上に取り組んでいる。こくわを活用した商品の開発に向け、西川町の紹介により、こくわ栽培研究会と日本酒製造販売技術を有する月山酒造(株)との連携に至り、(株)設楽酒造店の日本酒醸造技術も活用して、「こくわ」リキュールの開発を行う。



こくわ栽培風景

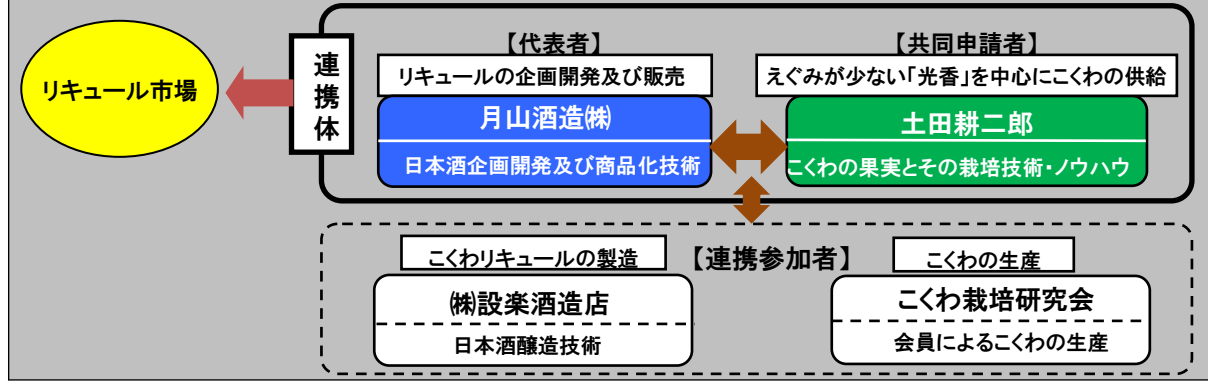
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

こくわの中でもえぐみの少ない「光香」を中心に使用し、特徴である糖度とビタミンCを最大限活かして、混和や微発泡という機能を付加させることで、類似商品との差別化を図る。酒類においても健康によいものを選択する傾向があり、健康志向の強い成人を中心に需要開拓が見込める。



こくわりキュールイメージ

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆健康志向の新しいビジネスモデルの開拓
- ◆新商品開発・販売による関係事業者の収益拡大
- ◆「こくわ」の作付拡大による農業者の経営改善、こくわのブランド化

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地): 月山酒造株式会社  
(山形県寒河江市大字谷沢769-1)
- ◆電話番号: 0237-87-1114
- ◆FAX番号: 0237-87-1163
- ◆E-mail: gassan@jan.ne.jp
- ◆ホームページ: <http://www.gassan-sake.co.jp/>